

秋の読書週間



今年の標語は、「いつだって、読書日和」

10/27 (火) から11/9 (月) は、読書週間です。飯盛図書室では、図書室をもっと身近に感じてもらうために、企画を準備しました。

〒854-1112 諫早市飯盛町開1929-3 ふれあい会館内 ☎48-0518(直通)

秋晴れのすがすがしい季節です。爽やかな風を感じながら、自然の中へお出かけしたり、虫の音を聴きながらゆっくり読書するのもいいですね。図書室では、参考になる本なども多数とりそろえています。本を選びにぜひ図書室へおいでください。

10月のおはなし会

- ☆ 10月24日 (土) 11:00~11:30
- ☆ 場所…飯盛図書室
- ☆ 対象…幼児・小学生
- ☆ 内容…「秋のおはなし」
絵本・紙芝居など

図書室カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■は、休室日、○はおはなし会やイベントの日です。



◆「秋のブックリサイクル」10/27 (火) ~11/8 (日)

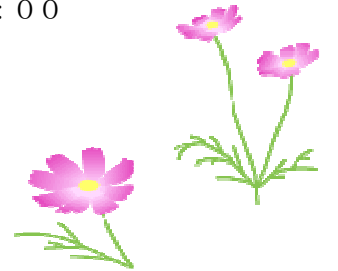
保存期限のきれた雑誌や、市民の皆さまから寄贈していただいた本などを無料で差し上げます。なくなり次第終了いたしますので、お早目にどうぞ。

◆「作って楽しい消しゴムはんこ」

はがきなどに押す自分だけのオリジナルの消しゴムはんこを作りませんか。今回はおもに年賀状用をつくります。

日時：11/6 (金) 14:00~16:00
対象：大人 定員：10名
参加費：600円 (材料、保険代込)

※申込期間 10/16 (金) から先着順
電話もしくはカウンターまで
TEL 0957-48-0518



一つのメルヘン

秋の夜は、はるかの彼方に、
小石ばかりの、河原があつて
それに陽は、さらさらと
さらさらと射しているのであります。
陽といつても、まるで硅石か何かのようで、
非情な個体の粉末のようで、
さればこそ、さらさらと
かすかな音を立ててもいるのでした。
さて小石の上に、今しも一つの蝶がとまり、
淡い、それでいてくっきりとした
影を落としていたのでした。
やがてその蝶がみえなくなると、
いつのまにか
今迄流れてもいなかった川床に、水は
さらさらと、
さらさらと流れているのであります……

『日本語を味わう名詩入門 中原 中也』
あすなる書房



忘れ物はありませんか

図書室では、夏休みの忘れ物などを預かっています。カウンターにおいてありますので、お心当たりのある方は、10月中にお申し出ください。お申し出がない場合は、申し訳ありませんが処分をさせていただきます。



【一般】

『プロフェッション』（今野敏／講談社）

立て続けに発生した誘拐事件。解放された被害者は、皆「呪い」をかけられていた。警視庁きっての特能集団、ここに始動！『インポケット』連載を単行本化。連ドラ&映画化「ST赤と白の捜査ファイル」の原作。

『熱血教師カオルちゃん』（新堂冬樹／角川春樹事務所）

都立高校の教師として1年生の担任をすることになった、一文字カオル、25歳（男）。教師の理想像をめざし、情熱と信念で突き進むカオルは、「金八先生」のような立派な教師になれるのか？『ランティエ』連載を加筆・訂正。

『ストールン・チャイルド』（緒川怜／光文社）

1年以上前に起きた老夫婦の連続変死は、架空の司法解剖、目撃証言の封殺といった、いくつもの嘘や怠慢で塗り固められたものだった。事故で愛妻を失った刑事が独自の捜査に乗りだし、やがて捜査線上に1人の男が浮上するが…。

『マイストーリー—私の物語』（林真理子／朝日新聞出版）

芥川賞作家の母親、「死んだ旦那の自伝を作りたい」と訪れた美しい未亡人…。自費出版の編集者・太田の元には様々な依頼が舞い込む。出版をめぐる人々の欲望と野心を鮮やかに描く。『朝日新聞』連載を単行本化。

その他新刊

◆ 孤狼の血	袖月 裕子	KADOKAWA
◇ ルパンの娘	横関 大	講談社
◆ ほんとくに70代は面白い	桐島 洋子	海竜社
◇ 日帰りで登る九州の山	吉川 満	弦書房
◆ 大人のADHD	岩波 明	筑摩書房
◇ 重曹とお酢ですっきり暮らす	岩尾 明子	主婦の友社
◆ かんたん楽しい紙版画	佐川 ヤスコ	マガジンランド

【児童】



『くすのきだんちのあきまつり』（末崎茂樹／ひかりのくに）

おまつりだいこが聞えてきます。くすのきだんちの住人は、まんまん池のお祭りに出かけました。おみこしや屋台店が出て、かけすの子どもたちもおおはしゃぎ！くすのきだんちシリーズ第6弾。

『おつきみおばけ』（せなけいこ／ポプラ社）

森の中に小さなおばけがいました。お月見の夜、泣いている小さなうさぎちゃんをなぐさめようと、親切なおばけちゃんはおだんごにばけますが…。心やさしいおばけちゃんのおはなし。

『むらさき色の悪夢』（斉藤洋／あかね書房）

おばけたいじ屋のナツカとパパは、松竹梅女子学園のトイレに出るという「むらさきばあ」の調査を依頼された。調べるためにトイレに入ったナツカの前に怪しい穴が…。ナツカのおばけ事件簿シリーズ第14弾。

そのほかの新しい本

☆べんり屋、寺岡の秋。

中山 聖子

文研出版

☆ペンギンのパンゴー

市川 里美

BL出版



職場体験に来てくれた飯盛中学校の生徒さんのおすすめです
【私のイチオシ！】

『わかったさんのクレープ』（寺村輝夫／あかね書房）

わかったさんはクリーニング屋さんで、何でも「分かった分かった」と言うのでわかったさんと呼ばれています。ある日、わかったさんは、いつものように洗濯物を届けに行くことにしました。しかし、その途中で不思議な世界に迷いこんでしまうんです！。そして・・・

気になる続きはぜひ本を読んでみてください。クレープの作り方ものっているのでお菓子作りが好きな子にもオススメです！！

